A 試合会場レポート

試合番号 **122**　　開催日 **2023/12/16**

令和5年度 天皇杯・皇后杯 全日本バレーボール選手権大会 男子　　会場： 東京体育館

観客数： 6,710	開始時間： 18:45	終了時間： 20:11	試合時間： 01:26	主審： 山本　晋五	副審： 増岡　三佳子

JTサンダーズ広島

監　督：ロサノ ラウル ルシオ
コーチ：坂梨 朋彦

通　算：　－　勝　－　敗
ﾎﾟｲﾝﾄ：　　－

0	21	第1セット【 00:25 】	25	3
	17	第2セット【 00:26 】	25	
	22	第3セット【 00:29 】	25	
		第4セット【　　】		
		第5セット【　　】		

ポイント　－　　【】内はセット時間　（）内は交代選手　　ポイント　－

パナソニックパンサーズ

監　督：ティリ ロラン
コーチ：白澤 健児

通　算：　－　勝　－　敗
ﾎﾟｲﾝﾄ：　　－

＜監督コメント＞

サーブとサーブレシーブがうまく機能せず、自分たちのリズムを作ることが出来なかったことが敗因だ。
ファンの皆様ご声援ありがとうございました。

21	前田 ( )	川口 ( )	第1セット	エバデーダン ( )	ジェスキー ( )	25
	坂下 (新井)	ラッセル ( )		西田 ( )	深津 ( )	
	三輪 ( )	江 ( )		大塚 ( )	山内 ( )	

リベロ：唐川　　リベロ：山本

17	川口 ( )	ラッセル (山本)	第2セット	エバデーダン ( )	ジェスキー ( )	25
	前田 ( )	江 ( )		西田 ( )	深津 (西山)	
	坂下 (新井)	三輪 ( )		大塚 ( )	山内 ( )	

リベロ：唐川　　リベロ：山本

22	ラッセル ( )	江 ( )	第3セット	エバデーダン (中村)	ジェスキー ( )	25
	川口 ( )	三輪 ( )		西田 (新)	深津 (西山)	
	前田 ( )	新井 (山本)		大塚 ( )	山内 ( )	

リベロ：唐川　　リベロ：山本

	( )	( )	第4セット	( )	( )	
	( )	( )		( )	( )	
	( )	( )		( )	( )	

リベロ：　　リベロ：

	( )	( )	第5セット	( )	( )	
	( )	( )		( )	( )	
	( )	( )		( )	( )	

リベロ：　　リベロ：

＜監督コメント＞

今季の試合の中でベストな試合をしたと思います。JTは非常に強いチームでこの試合は大事でした。今日はゾーンに入ってて、素晴らしい勝利でした。
明日優勝するため、今夜から集中します。
明日も応援よろしくお願いいたします。

＜要約レポート＞

天皇杯準決勝、パナソニックパンサーズとＪＴサンダーズ広島の一戦。
第１セット、序盤は大塚、ジェスキー、西田のアタックが次々と決まりパナソニックがリードする。対するJT広島はサーブレシーブを乱されるも、江川やラッセルのアタックで追撃する。中盤、JT広島は川口のサーブからパナソニックのリズムを崩し点差を縮めるとラッセルの攻撃で波に乗り、終盤は一進一退の攻防となるが、パナソニックが山本の好レシーブからジェスキーがアタックを決めて点差を広げ、セットを先取する。
第２セット、序盤にパナソニックは西田が攻守に活躍し点を重ねると、大塚がサービスエースを決め試合をリードする。JT広島も前田が攻撃陣を操り、坂下らがアタックを決め追撃するも、大塚の強烈なバックアタックを止めることが出来ず、点差を広げられてしまう。終盤、ジェスキーを中心に安定した攻撃を見せるパナソニックに対し、江川が奮起しアタックで応戦するJT広島だがパナソニックの勢いを止めることが出来ない。最後は西田のアタックが決まり、パナソニックがセットを連取する。
第3セット、後がないJT広島は新井をスタートから投入する。しかし、パナソニックは、深津が好調な西田やジェスキーを操り点を重ね、序盤からリードする。追いつきたいJT広島は、ラッセルや新井がアタックを決めるものの優位な展開に持ち込めないまま中盤まで進む。終盤、JT広島は三輪がブロックを決めると波に乗り点差を縮め詰め寄るが、パナソニックは西田の強烈なサービスエースや山内のアタックで突き放す。最後は大塚が値千金のサービスエースを決めてパナソニックが勝利し、明日の決勝進出を決めた。

作成者： 高澤　利恵

※本票の著作権は、公益財団法人日本バレーボール協会に帰属します。